

「ひみつおに」が教える

しょうがくせい
小学生のための

「ひみつおに」
といっしょに5つの
ひみつをべんきょう
しよう。

あんぜん
安全に
げこう
下校しよう!

こ あんぜん あんしん
子ども安全・安心
リーフレット



じぶんをまもる5つのひみつ

ひとりでかえらない

みためではわからない

ついていかない

おとなにたすけをもとめる

にげるじゅんびがたいせつ

(先生や保護者の方へ)

～子どもの安全・安心のために～

子どもを狙った犯罪の多くは、自宅の周辺など日々生活に利用する身近な場所で起きています。子どもたちの安全を守るためには、子どもたち自身が危険な目に遭わないようにする力を高める必要があります。本紙を子どもの安全教育の教材としてご使用いただき、子どもたち自身の危険を回避する力の育成にお役立てください。



ひみつおに

岡山県

1. あぶないところってどんなところ？

■ 下の絵の場所は、安全なところかな？
安全なところだと思ったら□に○を、
あぶないところだと思ったら□に×を
かきましょう。



コンビニエンスストア

トンネル

子ども110番の家



田んぼや畑の中の1本道

公園のトイレ

高いへいがつづく道



2. わるい人ってどんな人？

■ だれがわるい人かな？わるい人
だと思ったら□の中に○をかき
ましょう。



不審者（ふしんしゃ）ということばを聞くけど、
どんな人が不審者（ふしんしゃ）なのかな？



顔をかくしている人

やさしそうなおじさん

おんなの人

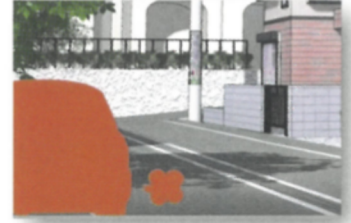
わかいお兄さん

3. きみならどうする？

■安全な行動はどちらでしょうか。安全な行動だと思っ^{おも}た方^{ほう}の□の中に○をかきましょう。

①学校^{がっこう}からの帰り道^{かえみち}、エンジン^{エンジン}をかけた車^{くるま}がとまっています。どうやって通り^{とお}すぎますか。

- 車のそば^{そば}をゆっくり通り^{とお}すぎる。
- 車^{くるま}からはなれて、気^きをつけながら通り^{とお}すぎる。



②知らないお兄^{にい}さんに「人気^{にんき}のカード^{カード}をあげるからこっち^{こち}においで」といわれたら、どうしますか。

- 「いらない」といってことわる。
- 「ありがとう」といってついていく。



③知らない人^{ひと}が帰り道^{かえみち}、ずっと後ろ^{うしろ}をついてきます。こんなとき、どうしますか。

- 話^{はなし}しかけてみる。
- おとなの人^{ひと}がいる安全^{あんぜん}なところ^{ところ}までにげる。



4. もしものために

■自分のいのちを守るために、ふだんからやっておいた方がよいことはどれでしょう。□の中に○をかきましょう。

①防犯^{ぼうはん}ブザー^{ブザー}をランドセル^{ランドセル}の中^{なか}にたいせつにしまっておく。



②いざというときのために、大きな声^{こえ}を出す練習^{だれんしゅう}や防犯^{ぼうはん}ブザー^{ブザー}を使う練習^{つかれんしゅう}をしておく。



③通学路^{つうがくろ}や家^{いえ}の近く^{ちか}にある子ども110番^{こどもみせ}の家^{いえ}やコンビニ^{コンビニ}などのお店^{みせ}の場所^{ばしょ}を覚えておく。



1. あぶないところってどんなところ？

【こたえ】

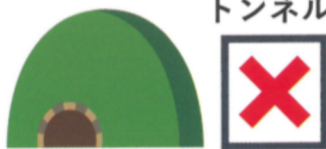
■下の絵の場所は、安全なところかな？安全なところだと思ったら□の中に○を、あぶないところだと思ったら□の中に×をかきましょう。

コンビニエンスストア



コンビニやスーパーマーケットなどには、はたらいているおとなの人がいるので、いざとなったら助けてくれます。

トンネル



トンネルは、周りから見えにくいだけでなく、だれでも入りやすいきけんな場所です。

子ども110番の家



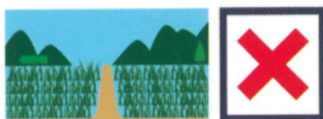
いざという時に助けてくれる地域の方の家(店)です。何かあったらかけこみましょう。

おぼえておこう!



黄色のコーンのほか、ステッカーやかんばんなど、地域によってさまざまな目印があります。

田んぼや畑の中の1本道



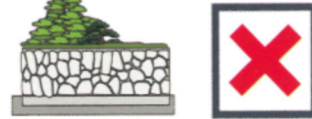
まわりに家がない道は、見通しがよくても、人の目がないので、きけんな場所になります。

公園のトイレ



周りから中の様子が見えないので、危険です。だれかといっしょに行くようにしましょう。

高いへいがつつく道



家の中に人がいても高いへいがじゃまて、道の様子はだれからも見えず、危険です。

やってみよう!

通学路や家の近くなどで危険なところや安全なところをさがしてみましよう。子ども110番の家や店はいくつあるかな!?

人がいないさびしい場所は危険なところですよ。下校の時、できるだけひとりで帰らないようにしましょう。また、家の近くになると、ひとりだけで帰らなければいけない場所があります。そんな時は、周りをよく見て気をつけて帰りましょう。



2. わるい人ってどんな人？

【こたえ】

■だれがわるい人かな？わるい人だと思った人の□の中に○をかきましょう。



わるい人は
見た目では
わかりません!



サングラスの人



ぼうしをかぶっている人



マスクをつけている人

サングラスやマスクなどで顔が見えない人や見た目があやしい人が悪い人とはかぎりません。やさしそうに見える人が悪いことをたくらんでいることもあります。悪い人は見た目ではわからないということを覚えておきましょう。

また、うしろをつけてきたり、しつこく声をかけてくるなど変な行動をする人は、悪い人かもしれません。もし、そんな事があったら、すぐに子ども110番の家やスーパー、交番などに行き、地域のおとなの人に助けてもらいましょう。



3. きみならどうする？

【こたえ】

■安全な行動はどちらでしょうか。安全な行動だと思った方の□の中に○をかきましょう。

①学校からの帰り道、エンジンをかけた車がとまっています。どうやって通りすぎますか。

車のそばをゆっくり通りすぎる。



急に車に連れ込まれるかもしれないぞ。車からはなれて通りすぎるようにしよう。



車からはなれて、気をつけて通りすぎる。

②知らないお兄さんに「人気のカードをあげるからこっちにおいて」といわれたら、どうしますか。

「いらない」といってことわる



カードやゲームをあげるといわれても、ぜったいについてはいけません！ことわりましょう。



「ありがとう」といってついていく。

③知らない人が後ろからつけてきます。こんなとき、どうしますか。

話かけてみる。



自分が「いやだな」、「こわいな」と思ったら、すぐにおとなの人がいる安全な場所までにげるんじゃ。



おとなの人がいる安全なところのにげる。

ぜったいについていかないようにしましょう。危険をかんじたら、その場所からはなれ、安全な場所へにげましょう。そして、信頼できるおとなの人に助けをもとめるようにしましょう。



4. もしものために

【こたえ】

■自分のいのちを守るために、ふだんからやっておいた方がよいことはどれでしょう。□の中に○をかきましょう。

①防犯ブザーをランドセルの中にたいせつにしまっておく。



防犯ブザーは手の届くところに、すぐに使えるようにしておこうね。中にしまっておくと、にげるときに使えないよ。



②いざという時のために、大きな声を出す練習や防犯ブザーを使う練習をしておく。



いざという時のために、大きな声を出す練習やブザーを鳴らす練習をしておこうぜ。ときどき、おうちの人と電池の確認もしよう。※遊びで使っちゃだめよ。



③通学路や家の近くにある子ども110番の家やコンビニなどのお店の場所を覚えておく。



もしもの時に逃げられるように、安全なところをよく覚えておくのじゃ！



やってみよう！

- 防犯ブザーをならしてみよう。
- 大きな声で「たすけて～」といってみよう。

危険はいつやってくるかわかりません。学校や家でも、大声で助けをもとめる練習やにげる練習、防犯ブザーの点検や使う練習などおとなの人といっしょにしておきましょう。にげるためのじゅんぴがたいせつです。



先生や保護者の方へ

子どもたちといっしょに話をしましょう。

- あいさつは、地域の方とコミュニケーションを深めていくうえでとても大切なことです。子どもにあいさつをすることの大切さを教え、大人も自ら積極的にあいさつをする姿を見せましょう。
地域の方の目は、犯罪の抑止につながるだけでなく、子どもが危険に巻き込まれないよう守ってくれる大切な存在です。
- 知らない人と話をするときには、手を伸ばしてもつかまれない距離が安全な距離と教えましょう。また、相手が安全な距離に入ってくるなど危険だと感じたら、すぐに安全な場所に逃げるように教えましょう。
- 知らない人に連れて行かれそうになった時は、大声を出したり、防犯ブザーを鳴らして、助けを求めなくてははいけません。しかし、実際に危険な状況になると怖くて声が出せなかったり、防犯ブザーが鳴らせなかったりすることもあります。大きな声で助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしたりする練習を、学校でも家庭でも行っておくことが大切です。(防犯ブザーの電池の確認も定期的にしましょう。)
- いざというときのために、子どもといっしょに学校の周りや通学路の途中にある安全な場所を確認しておきましょう。(子ども110番の家、コンビニ、交番、スーパー等)
また、地域安全マップづくりを通して、危険な場所と安全な場所の理解を深める学習をさせるなど、子どもの防犯力を向上させましょう。
- 下校時など、家の近くでは1人になる区間があります。犯罪者は、そのようなタイミングをねらっています。1人になるときには、エンジンをかけて停まっている車はないか、知らない人が近づいてきていないかなど、周りに気を付けながら帰るように話しておきましょう。
- 外に遊びに行くときは、「どこで」「だれと」「何時に帰るのか」を必ず家の人に知らせるように、学校や家庭でしっかり話しておくと安心です。

おはよう
ございます!



- どこに
- だれと
- 誰と
- 安全し かな
- 何時に帰るのか

小学生のための子ども安全・安心リーフレット

作成：岡山県県民生活部くらし安全安心課
参考資料：大阪教育大学安全教材
発行日：令和3年4月



ウェブサイトも
見てほしいのだ!

